



# いしかわ多胎ネット ニュース・レター

No.3 2007年10月



## くっついたり離れたり、離れたりくっついたり



いつもその動向に注目をしているふたごの仲間に、画家・絵本作家の田島征彦、田島征三兄弟がいます。お二人は、僕と同じ高知県生まれということもあって、ずっと関心を持ってきたのですが、名前も<たじま>と<たしま>と別の音で読ませるなど、お互いに違いを強く意識する兄弟です。したがって、お互いの作品に対する批判も生半可なものではなく、それはそれは厳しいものがあります。一緒に創作や展覧会をやっても、すぐにケンカになって、「二度と一緒にするか」と決別をする。かと思うと、しばらくするとまた一緒に創作をやったりする。くっついたり離れたり、離れたりくっついたり面白いふたごです。

同性のふたご、特に男男のふたごの競争心というか敵愾心というものは、昔に比べて弱くなったといわれてはいますが、目の前で激しく言い合ったり、つかみ合ったりしているのを見ると、親としては色々と心配になると思います。でも、そのようなふたごも、次の瞬間には仲直りして、一緒に遊んだりするものです。激しくぶつかるのもふたごの親密さの表れなんですね。そんな育ちをしたふたごは、大人になってもお互いに大事な相棒であり、その後の人生の展開によって別々の道を歩んだとしても、くっついたり離れたり、離れたりくっついたりなのです。

(志村 恵)

田島征彦・田島征三『激しく創った!!』メディアリンクス・ジャパン、2006年

## 講演会のご案内 2007年12月1日

加賀地区で講演会を行います。講師の長坂康代先生（ひろ助産院〔白山市〕の管理栄養士）に、健康的な食事を簡単、短時間に作る方法を紹介していただきます。

一緒に楽しく作って、美味しく食べましょう！

日時：2007年12月1日（土）午後1時から

場所：白山市 健康センター松任

材料費：1人500円 持参するもの：エプロン、三角巾、タオル

参加・託児には事前に申し込みが必要です。申し込み多数の場合は人数制限させていただきます。申し込み締め切りは11月20日（火）

参加・託児申込先：親子つどいの広場まんま

Tel/Fax：0761-78-4747（担当：河原廣子）

E-mail：oyakohot@trad.ocn.ne.jp

## WAM ピアサポート事業の報告

橘 薫

6月からWAM（独立行政法人福祉医療機構）の助成事業として兵庫、岐阜、石川の3多胎ネットで始まった「ピアサポート事業」も10月で終了。サポーターや行政担当者、保健師さんたちとの中間報告会の後、そろそろまとめに入ります。いしかわ多胎ネットとして登録したピアサポーターは18名、その中の10名が実際に活動していただき、5ヶ月弱のあいだに申し込み25件、60回の訪問活動となりました。

実はこのピアサポート活動こそ、私たちの原点であり、多胎児ファミリーの日常を支える最も当事者性の高い「循環型支援」だと自負しています。同じ多胎のこどもを持つ親としてのちょっとしたノウハウやささいなアドバイスの伝達が、リスクの高い子育て真っ最中の当事者にとって、どれだけ日々の不安感や困難感を軽減してくれ、めまぐるしい日常を支える大きなきっかけになっていることか。今ではサポート側（サークルや子育て広場のスタッフ）として活躍している多くの先輩ママたちのパワーが実証してくれています。

今回の事業でも、ホンの2~3回の訪問をきっかけに、双子が多く集まる広場の利用、ファミリーでのイベント参加やファミリーサポート、一時保育の利用、また保育園の入所申請手続きなど、短期間のあいだに予想を超えた展開があり、親も子も初めてのときとは大違いの笑顔でいっぱいです。特に多胎特有の実情を知らないまま体調不振を我慢し、仕事を続けていた妊婦さんの回復はめざましく、家族にも安静の大切さを伝え、夫の協力を得て早めの入院、順調な経過と出産の知らせは、今後につながるうれしい出会いとなりました。それと保育や入浴介助など、小・中・高生の双子サポートも好評です！



最近知った知識ですが、イギリスのホームスタート、カナダのさまざまな家庭支援プログラムなどは私たちが自然発生的に続けてきたこの訪問活動とよく似ています（ちなみに「風っ子KIDS」ではたちあげから13年続けています）。

これだけ有効な「ピアサポート事業」が今後も継続していくには何が必要なのか、たとえばボランティアにかかる必要経費、それを管理する事務局雇用の必要性、そしてその要となるコーディネーターの育成と処遇についてなどなど・今後、多胎ネットに協力していただいている皆さんと共に真剣に考え、提案していきたいと思っています。どうぞみなさんも「これがあったからこんなふうになりました！」などのご意見ご要望を、どしどしお寄せくださいね！！



## 能登での講演会の報告（2007年8月25日いしかわ多胎ネット講演会報告）

志村 恵

8月25日（土曜日）の午後、財団法人精神・神経科学振興財団、能登北部保健福祉センターとの共催で、能登空港ターミナルビル内にある石川県生涯学習センターにおいて、「ふたご・みつご集まれ！！」と称して、講演会と交流会を開催しました。

「ふたごの絵本、ふたごの気持ち」（志村恵）と「ふたごの健康管理 ～多胎育児サポート研究者からのアドバイス～」（大木秀一）との二つのミニ講演のあと、ふたご育児に特有の悩みや楽しみを共有するために、先輩ママの体験談を交えた交流会をしました（司会：橘薫）。9名のスタッフを含め22名が参加しました（参加者は7組13名）。

能登という地域にあって多胎児を産み育てる苦労は大変なことではありますが、このように同じ経験を重ねている「仲間」と出会うことで、それぞれが勇気付けられ、新たな力が得られたのではと思います。

企画段階から協力関係にある能登北部保健福祉センターと保健師の今井さんには心から感謝いたします。



## 平成19年度石川県公衆衛生功労者母子保健事業従事者知事表彰

### ピーナッツ・キッズ・クラブ 表彰

母子保健事業や母子保健活動を積極的に行い、その功績が顕著な団体として、知事表彰を受けました。（平成19年8月30日）

私達ピーナッツキッズクラブは、年2回、妊婦さんからの多胎児家族の交流会を南加賀保健福祉センターで、開催しています。ぜひ、参加してみてください。



*Congratulations!*

## 県内の多胎児家庭へのサービス情報・・・その2

### 多胎児教室の紹介

能登中部保健福祉センター・能登北部保健福祉センター

#### ●多胎児教室の開催について

石川県では平成8年からおおきなあれ未熟児総合ケア推進事業として、未熟児とその保護者に対して支援を行ってきました。平成10年度から多胎児育児基盤整備事業が始まり訪問支援を行ううちに「他のママはどうしているの?」という声が多くあり、平成11年度から育児不安の解消と仲間づくりを目的に多胎児教室を開いています。

#### ●能登中部保健福祉センター開催状況

場 所：能登中部保健福祉センター

連絡先：能登中部保健福祉センター (0767) 53-2482 福浦

日 時	内 容
平成19年7月17日 13:30~15:30	離乳食のお話 なんでも育児相談 座談会・身体計測
平成19年9月18日 13:30~15:30	多胎先輩ママの体験談 風っ子キッズ(金沢)
平成19年11月20日 13:30~15:30	離乳食のお話 なんでも育児相談 座談会・身体計測
平成20年1月15日 13:30~15:30	離乳食のお話 なんでも育児相談 座談会・身体計測
平成20年3月4日 13:30~15:30	離乳食のお話 なんでも育児相談 座談会・身体計測



保育室  
あります



#### ●能登北部保健福祉センター開催状況

場 所：能登空港ターミナルビル 4階 生涯学習センター

連絡先：能登北部保健福祉センター (0768) 22-2011 今井

日 時	内 容
平成19年8月25日 14:00~16:00	いしかわ多胎ネットと共催
平成19年11月21日 14:00~16:00	交流会 離乳食・食事のお話 なんでも育児相談
平成20年2月20日 14:00~16:00	交流会 離乳食・食事のお話 なんでも育児相談

・「私だけ?」と思っていた気持ちが  
楽になった  
・育児書より先輩ママの話が役に  
立った  
・普段は他の多胎ママと話す機会  
がないので、  
参加できてうれしい



小さいお子さんをもつお母さんの参加が多いですが、地域の先輩ママにもっと参加していただき、育児中のお母さんと話をさせていただきたいと思っています。ぜひ参加して下さい。

#### いしかわ多胎ネット お問い合わせ先

志村 恵 (電話・FAX 連絡)  
〒920-1192 石川県金沢市角間町  
金沢大学文学部

Tel: 076-264-5345 Fax: 076-264-5362  
E-mail: megumi@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

大木 秀一 (郵便物)  
〒929-1212 石川県かほく市中沼ツ7番1  
石川県立看護大学健康科学講座

Tel / Fax: 076-281-8377  
E-mail: sooki@ishikawa-nu.ac.jp